

2019 年度（平成 31 年度）
首都大学東京 大学院都市環境科学研究科
都市政策科学域 選抜試験（夏季）
博士前期課程（一般・社会人）

科目 <小論文>

時間 9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0

- 注意事項：
- ①解答は、配布された解答用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出て下さい。
 - ②その他、監督者の指示に従うこと。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

次頁の図は国土交通省が2013年に実施した「住生活総合調査」^注のうち、設問「住宅及び居住環境に関して重要と思う項目」の結果集計である。設問は、住宅及び居住環境の評価の個別要素について「最も重要と思うもの」を1項目（必須）、「次いで重要と思うもの」を4項目まで（任意）、「重要と思わないもの」を4項目まで（任意）、選択する方式で行われた。設問における個別要素は住宅17項目と居住環境17項目の合計34項目が提示された。次頁の図では「最も重要」の回答の多い項目から順に並べている。

（注：全国から抽出された9.2万世帯を対象に実施）

- （1） 図から読み取れる結果を整理して記述しなさい。
- （2） 図に示されている個別要素のうち居住環境17項目（図中で（環）の付されたもの）から一項目を取り上げ、それを明記したうえで、現状の課題および必要な対応策について論じなさい。

（次のページに図があります。）

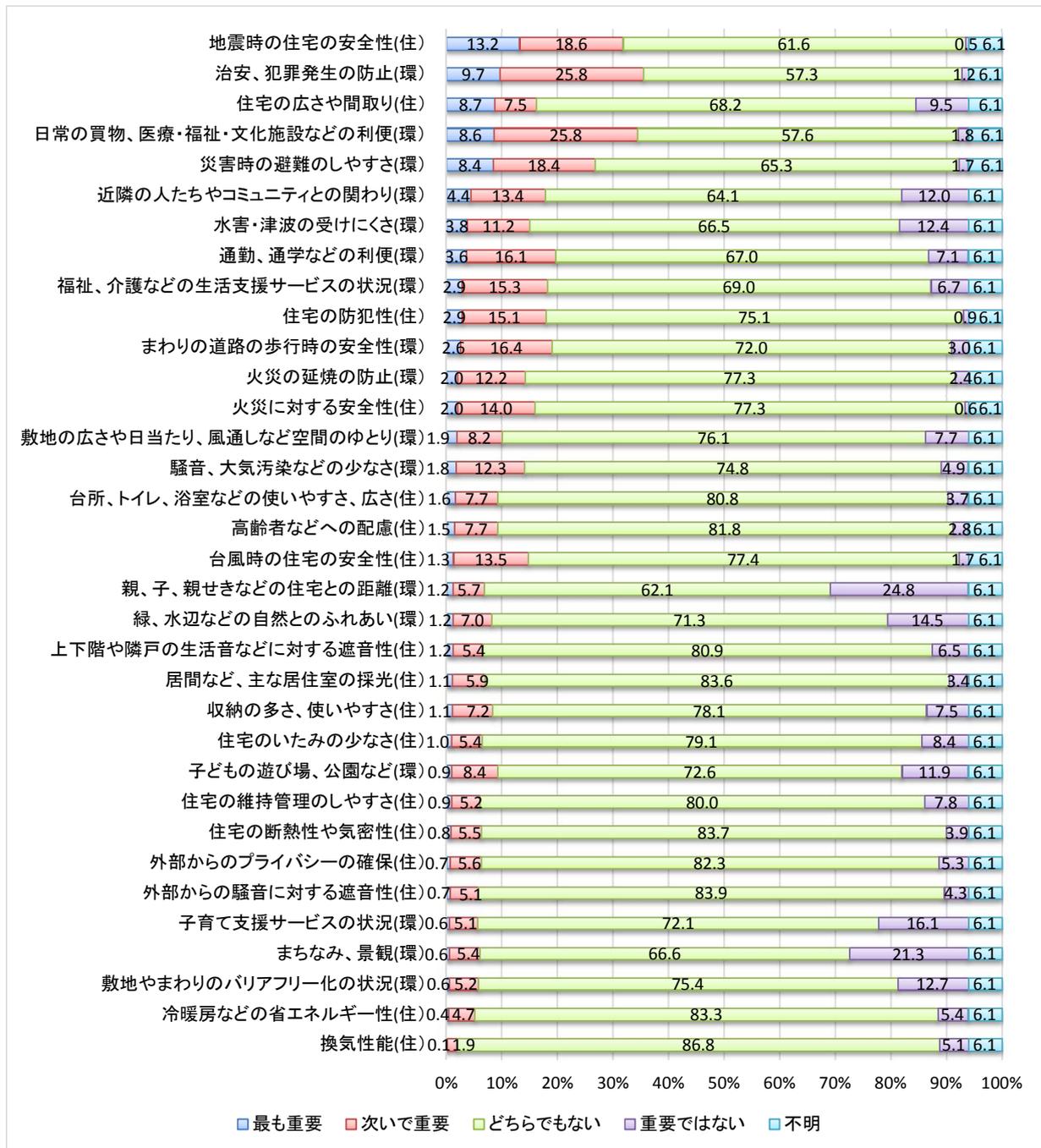


図 住宅及び居住環境の各要素の重要度

注：各項目末尾の(住)は住宅の、(環)は居住環境の個別要素であることを表す。
 (『平成25年 住生活総合調査結果』(国土交通省住宅局)表2をもとに作成)